静岡新聞社　住民インターネットアンケート

参考資料３

平成29年６月６日（火）静岡新聞朝刊（11面）

情報の出し方で行動変化

本社住民アンケート

リスク伝わる発信 議論を

東京大大学院情報学環 総合防災情報研究センター 関谷特任准教授に聞く

大規模地震対策特別措置法（大震法）を含めた南海トラフ地震対策の見直し議論を受け、静岡新聞社が行ったアンケート。中央防災会議の有識者ワーキンググループ（作業部会）で示されている想定状況のうち、東海地域が〝割れ残る〟ケースでの市民意識などについて、災害社会学や社会心理学が専門の関谷直也・東京大大学院情報学環総合防災情報研究センター特任准教授に聞いた。（大震法取材班）

せきや・なおや　東京大大学院情報学環助手、東洋大社会学部講師、同准教授などを経て2014年から現職。静岡大防災総合センター客員准教授を兼務。自然災害や原子力災害などにおける災害時の心理、災害時の情報伝達などを社会心理学の視点から研究している。新潟県出身。41歳。

沈黙の駿河湾 東海地震説40年

―全体的な調査結果を見た感想は。

「情報の出し方やコミュニケーションの取り方によって、その後の人々の行動がどのように変わるかを示している点で意義深い。南海地震が発生して静岡県側が〝割れ残り〟になると、まず2割の人が避難する。気象庁からリスクが高いという呼び掛けがあればさらに2割が逃げる。その上で、避難勧告をするかしないかなどによって残りの5、6割の人の行動が変化すると読み取れ、全体としては妥当な感がある」

―気になる部分は。

「気象庁からの呼び掛けがあった段階までで『避難する』との回答が4割しかないのは、少ないという印象だ。静岡県は普段から県民が東海地震に備えて耐震化などに取り組んできているが、想定される地震の規模が南海トラフ全体にまで大きくなる中、さまざまな地震発生のパターンに備えるというところにまでは至っていないということではないか」

「気象庁からの呼び掛けも『今後3日程度は極めて高く、2週間程度は依然として特段に高い状態にある』では、行動を促すメッセージとしては弱いと言える。現状ではこのような情報になると考えられるが、ある地域で住民の心理にまでなかなか響かないのではないだろうか」

―この4割の人たちの避難期間は3日～2週間程度が多かった。

「質問項目の呼び掛け通りの回答が得られている。避難行動をとる人にとっては、意味を持つ情報となっているということだろう」

―作業部会では、不確実な地震発生予測を基に自治体の首長が避難勧告を出すかどうかも議論になっている。

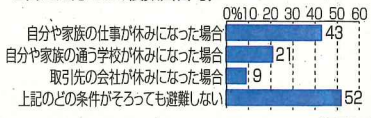
「気象庁からの呼び掛けがあっても『自宅にとどまる』とした6割の人でも、82%は避難勧告などが出れば避難すると答えている。制度にのっとった情報を受ければ動くし、逆にそのトリガー（引き金）を引かなければ動かないということ。一番のボリュームゾーンとなるこの層に情報をどう出すかが今後のポイントで、地震学の精度とか科学的に分かるか分からないとかの話とは別に、人を動かすにはどういう情報が必要かというのが議論として重要になると思う」

―自宅にとどまる人が緊急的に実施する対策では水や食料の確保が突出している。

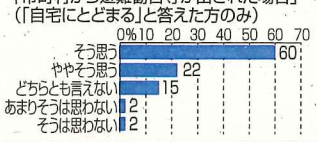
「次の地震に備えた買いだめが起こるのは東日本大震災後に関東一円で物資が不足したのと同じ状況になると考えられ、想像はしやすい。混乱が想定される以上はどういう社会的対応をするのか、どの程度社会機能を維持させるのかなどを、できるだけ事前に考えておくことが大事だ」

避難する場合、最大どの程度の期間、避難しますか（「避難する」と答えた方のみ）

どの条件が満たされれば、あなたやご家族は自宅以外の安全な場所に避難しますか（「自宅にとどまる」と答えた方のみ、複数回答可）



次の場合であれば避難すると思いますか「市町村から避難勧告等が出された場合」（「自宅にとどまる」と答えた方のみ）



調査結果

（※パーセンテージは無回答を除く回答者のうちの割合。）

【性別】		
男性	227	(55%)
女性	188	(45%)
【年齢】		
10代以下	22	(5%)
20～29歳	68	(16%)
30～39歳	66	(16%)
40～49歳	109	(26%)
50～59歳	85	(20%)
60～69歳	39	(9%)
70歳以上	26	(6%)
【職業】		
会社員・役員	157	(38%)
自営業	23	(6%)
専門職	17	(4%)
公務員	35	(8%)
学生	46	(11%)
主婦・主夫	49	(12%)
パート・フリーター	40	(10%)
無職	44	(11%)
その他	4	(1%)
【あなたのお宅は、次のどれにあたりますか】		
持ち家（一戸建て）	281	(68%)
持ち家（マンション）	30	(7%)
賃貸（一戸建て）	16	(4%)
賃貸（マンション・アパート）	84	(20%)
その他	4	(1%)
【あなたのお宅には、あなた自身も含め次に該当する方がいますか】		
小学校に入学する前の子供	44	(11%)
小学生	68	(16%)
日常生活に介護を必要とする方	33	(8%)
妊産婦	5	(1%)
上記に該当する方はいない	293	(71%)

問１　あなたのお住まいのご自宅あるいは地域は次のどれにあたりますか（複数選択可）

自宅またはその周辺は、津波の危険がある	128	(31%)
自宅またはその周辺は、山・がけ崩れの危険がある	79	(19%)
自宅の周辺が住宅密集地で、延焼火災の危険がある	174	(42%)
自宅の耐震性がなく、倒壊する危険がある	90	(22%)
上記の危険はなく比較的安全だと思う	97	(23%)

【問１で「自宅またはその周辺は津波の危険がある」と答えた方のみ】

問２　南海トラフ地震が発生した場合、あなたのお住まいの地区（ご自宅の場所）では、津波は一番早い場合で地震発生後どのくらいの時間で到達すると思いますか

地震発生直後～５分	34	(27%)
６～10分	45	(35%)
11～15分	12	(9%)
16～20分	11	(9%)
21～30分	9	(7%)
31～60分	1	(1%)
60分以上	0	(0%)
わからない	16	(13%)

問３　次にあげるものの中で、南海トラフ地震等に備えて実施している防災対策がありますか（複数選択可）

家具類の転倒・移動防止対策を実施している	223	(54%)
家具を何も置いていない部屋を寝室にしている	105	(25%)
ガラス飛散防止をしている	68	(16%)
棚の上の重いものをおろしている	84	(20%)
ガスを使わないときには元栓を締めるようにしている	87	(21%)
火気器具のまわりを整理するようにしている	90	(22%)
石油ストーブは、耐震自動消火装置付きのものにしている	122	(29%)
風呂に水を入れるようにしている	94	(23%)
消火器や水を入れたバケツなどを用意するようにしている	76	(18%)
非常持出品を用意している	206	(50%)
食料・飲料水の備蓄をしている	280	(67%)
割れたガラスから保護するために運動靴などを用意している	93	(22%)
防災についての家族の役割を話しあっている	39	(9%)
家の中で「とっさ」に逃げる場所を決めている	74	(18%)
家族との連絡方法を決めている	90	(22%)
地震の時に避難する場所を決めている	155	(37%)
家族が離ればなれになったとき落ち合う場所を決めている	88	(21%)
自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認している	92	(22%)
幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めている	52	(13%)
感震ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）の設置	36	(9%)
外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯	119	(29%)
ブロック塀や門柱などの安全性について点検	32	(8%)
特に何もしていない	32	(8%)

問４　あなたは、このような南海トラフ巨大地震が発生した場合の被害の想定を知っていましたか

良く知っている	117	(28%)
なんとなく知っている	272	(66%)
知らなかった（今、知った）	26	(6%)

問５　南海トラフでは、東南海・東海地震と南海地震が、数日から数年の時間差で連続して、あるいは同時に発生したことを知っていますか

良く知っている	136	(33%)
なんとなく知っている	160	(39%)
知らなかった（今、知った）	119	(29%)

問６　南海トラフ地震等が起きたときの避難のため、市町村はあらかじめ地震や津波災害に対応した指定緊急避難場所を指定していますが、あなたの住む地域の指定緊急避難場所をご存じですか

どこが地震や津波災害に対応した指定緊急避難場所であるか知っている	295	(71%)
地震や津波災害に対応した指定緊急避難場所があることは知っているが、場所は知らない	85	(20%)
全く知らない	35	(8%)

問７　あなたがご自宅にいるときに、突然地震が起こり、今まで経験したことがないような揺れを感じた場合、あなたやご家族は津波や余震に備えて自宅以外の場所に避難しますか。また、避難する場合はどこに避難しますか

地震や津波に対応した指定緊急避難場所	181	(44%)
自宅周辺の広場や高台などの指定緊急避難場所以外の場所	117	(28%)
親戚、知人宅	13	(3%)
避難しない	104	(25%)

【問７で「避難しない」以外を選んだ方のみ（問７－３まで）】

問７－１　避難する理由は何ですか（複数回答）

自宅又はその周辺は、津波の危険が予想されるから	71	(34%)
自宅又はその周辺は、山・がけ崩れの危険が予想されるから	30	(14%)
自宅の周辺が住宅密集地で、延焼火災の危険が予想されるから	61	(29%)
自宅の耐震性がないから（自宅が倒壊またはその危険があるから）	53	(25%)
自宅又はその周辺の危険はないが、不安だから	79	(37%)

問７－２　揺れがおさまってから何分後に避難開始しますか

５分以内	144	(53%)
６～10分	63	(23%)
11～15分	18	(7%)
16～20分	8	(3%)
21～30分	11	(4%)
31～60分	3	(1%)
60分以上	5	(2%)
わからない	18	(7%)

問７－３　避難するときの交通手段は何ですか

徒歩	226	(85%)
自転車	18	(7%)
原付・バイク	3	(1%)
自家用車	20	(7%)
公共交通機関（電車・バス・タクシー等）	0	(0%)

【問７で「避難しない」を選んだ方のみ】

問７－４　避難しない理由は何ですか（複数選択可）

住んでいる地域や自宅は安全だと思うから	76	(75%)
どこに避難したらよいかがわからないから	7	(7%)
避難したくても避難できない理由があるから（例；家族に要配慮者がいる）	9	(9%)
避難所等に避難するのは嫌だから	19	(19%)
その他	15	(15%)

問８　あなたのお住まいの地域はどちらですか。

南海トラフ沿いの想定震源域の東側の地域（東海地震が懸念される地域）	410	(99%)
南海トラフ沿いの想定震源域の西側の地域（南海地震が懸念される地域）	5	(1%)

＜次の状況をイメージしてください＞

あなたの居住地域ではない側の地域（南海地震のエリア）で大地震が発生し、震源に近い地域では揺れや津波により多くの死者・行方不明者・家屋被害が発生しています。自衛隊や警察、消防が人命救出活動を行っています。鉄道や高速道路なども損壊したため、運休や通行止めとなっています。このような東日本大震災における東北地方の被災状況と同様の状況が、テレビ等を通じて刻々と報道されています。しかし、あなたの居住地では被害は発生しておらず、電気・水道等も問題なく使えています。会社や学校、商店などは通常どおり運営されています。

問９　あなたや家族が自宅にいて、この状態になった場合、安全な場所に避難しますか

自宅以外の安全な場所に避難する	79	(19%)
自宅にとどまる	336	(81%)

以下の「想定する状況」をイメージし、以降の問いにお答えください

＜想定する状況＞

○あなたの居住する側の地域（東海地震のエリア）では現時点では大地震は発生していませんが、「過去の歴史を踏まえると、まだ地震が起こっていないエリアでも数日から数年以内に必ず大規模な地震が発生している」ことがマスコミから報道され始めました。

○あなたの居住地域（東海地震のエリア）でも大地震が発生する可能性について、気象庁は過去の類似状況の統計データに基づいて「今後３日程度は極めて高く、２週間程度は依然として特段に高い状態にある」と発表して、注意を呼びかけています。

○仮に、あなたの居住地域（東海地震のエリア）でも大地震が発生した場合、強い揺れや津波によって多数の家屋が倒壊し、多くの人命被害が発生する可能性があります。先行した大地震と併せて被害は広域に及び、全国的な支援を受けることが困難となるため、救助活動の難航や手厚い物資支援等を期待できない可能性があります。

問10　あなたやご家族が自宅にいて、「想定する状況」になった場合、安全な場所に避難をしますか

自宅以外の安全な場所に避難する	172	(41%)
自宅にとどまる	243	(59%)

【問10で「自宅以外の安全な場所に避難する」を選んだ方のみ（問10－１－５まで）】

問10－１－１　避難する場合、最大どの程度の期間、避難しますか

～３日程度	60	(36%)
～１週間程度	44	(26%)
～２週間程度	37	(22%)
～１カ月程度	17	(10%)
１カ月以上	9	(5%)

問10－１－２　避難期間を問10－１－１のように答えた理由は何ですか

▽気象庁が、大地震の発生可能性について「今後３日程度は極めて高く、２週間程度は依然として特段に高い」と発表しているから		
そう思う	77	(47%)
ややそう思う	65	(39%)
どちらとも言えない	16	(10%)
あまりそうは思わない	3	(2%)
そうは思わない	4	(2%)
▽その期間くらいで周りの人も避難を止めると思うから		
そう思う	26	(16%)
ややそう思う	65	(40%)
どちらとも言えない	51	(31%)
あまりそうは思わない	12	(7%)
そうは思わない	8	(5%)
▽仕事ができなくなるなど、経済的に不安があるから		
そう思う	40	(25%)
ややそう思う	52	(32%)
どちらとも言えない	32	(20%)
あまりそうは思わない	18	(11%)
そうは思わない	20	(12%)
▽長距離の通勤や通学、通院等が耐えられないから		
そう思う	23	(14%)
ややそう思う	44	(27%)
どちらとも言えない	40	(25%)
あまりそうは思わない	26	(16%)
そうは思わない	28	(17%)
▽子供や高齢者がいる等、避難先での生活に抵抗があるから		
そう思う	38	(24%)
ややそう思う	53	(33%)
どちらとも言えない	32	(20%)
あまりそうは思わない	14	(9%)
そうは思わない	23	(14%)
▽住み慣れない避難生活でストレスや病気が心配だから		
そう思う	70	(44%)
ややそう思う	55	(34%)
どちらとも言えない	15	(9%)
あまりそうは思わない	11	(7%)
そうは思わない	9	(6%)
▽自宅や地域から離れることが不安だから		
そう思う	48	(31%)
ややそう思う	44	(28%)
どちらとも言えない	38	(24%)
あまりそうは思わない	11	(7%)
そうは思わない	16	(10%)

問10－１－３　避難する先はどこですか（複数選択可）

市町村で指定した避難場所（学校や公民館等の公共施設）	134	(79%)
親戚の家、友人・知人宅、別宅	50	(30%)
ホテル・旅館等	6	(4%)
指定された避難場所以外の安全な場所	20	(12%)
その他	5	(3%)

問10－１－４　（前問で「市町村で指定した避難場所」以外を答えた方）その場所はどこですか

同一市町村内	14	(47%)
同一県内	5	(17%)
その他（県外・海外）	11	(37%)

問10－１－５　仮に避難後に地震が発生しなかった場合に、あなたは何を考えると思いますか

▽津波や土砂災害に対しても安全な場所へ移住したい		
そう思う	57	(36%)
ややそう思う	30	(19%)
どちらとも言えない	38	(24%)
あまりそうは思わない	20	(13%)
そうは思わない	15	(9%)
▽自宅の耐震補強を実施して、地震時でも自宅で暮らせるようにしたい		
そう思う	76	(48%)
ややそう思う	42	(27%)
どちらとも言えない	20	(13%)
あまりそうは思わない	13	(8%)
そうは思わない	7	(4%)
▽安全な場所にある他の家族の家で暮らしたい		
そう思う	24	(15%)
ややそう思う	19	(12%)
どちらとも言えない	41	(26%)
あまりそうは思わない	36	(23%)
そうは思わない	40	(25%)

【問10で「自宅にとどまる」を選んだ方のみ（問10－２－４まで）】

問10－２－１　避難しない理由は何ですか（複数回答可）

住んでいる地域や自宅は安全と思うから	109	(46%)
実際に大地震が発生してから避難しても大丈夫と思うから	64	(27%)
地震が発生する可能性や発生時期等の情報の信頼性が低いから	41	(17%)
自分や家族が、仕事や学校に行く必要があるから	72	(30%)
避難所・避難先での生活に抵抗があるから	71	(30%)
その他	41	(17%)

問10－２－２　避難しない場合に緊急的に実施する防災対策は何ですか（複数回答可）

家具類の転倒・移動防止対策の確認・実施	152	(64%)
火気器具のまわりの整理	140	(59%)
飲料水・生活水、食料の備蓄・確保	210	(89%)
避難路・避難先の確認	135	(57%)
家族等との連絡方法の確認	174	(74%)
緊急地震速報が発表された時の対応の確認	145	(61%)
その他	16	(7%)
特に何もしない	1	(0%)

問10－２－３　「想定する状況」の中で、以下のどの条件が満たされれば、あなたやご家族は自宅以外の安全な場所に避難しますか。（複数回答可）

自分や家族の仕事が休みになった場合	97	(43%)
自分や家族の通う学校が休みになった場合	48	(21%)
取引先の会社が休みになった場合	21	(9%)
上記のどの条件がそろっても避難しない	119	(52%)

問10－２－４　次の場合であれば避難すると思いますか

▽周りの人が避難したり、周りの人から避難を呼び掛けられた場合		
そう思う	68	(29%)
ややそう思う	78	(34%)
どちらとも言えない	56	(24%)
あまりそうは思わない	12	(5%)
そうは思わない	17	(7%)
▽市町村から避難勧告等が出された場合		
そう思う	140	(60%)
ややそう思う	50	(22%)
どちらとも言えない	34	(15%)
あまりそうは思わない	4	(2%)
そうは思わない	4	(2%)
▽隣接地域で起きた大地震に大きな恐怖や不安を感じた場合		
そう思う	65	(28%)
ややそう思う	61	(26%)
どちらとも言えない	78	(34%)
あまりそうは思わない	14	(6%)
そうは思わない	13	(6%)
▽自宅周辺のスーパーや銀行が休みになった場合		
そう思う	52	(22%)
ややそう思う	70	(30%)
どちらとも言えない	61	(26%)
あまりそうは思わない	26	(11%)
そうは思わない	24	(10%)
▽通院している病院が休みになった場合		
そう思う	44	(19%)
ややそう思う	45	(19%)
どちらとも言えない	70	(30%)
あまりそうは思わない	34	(15%)
そうは思わない	39	(17%)